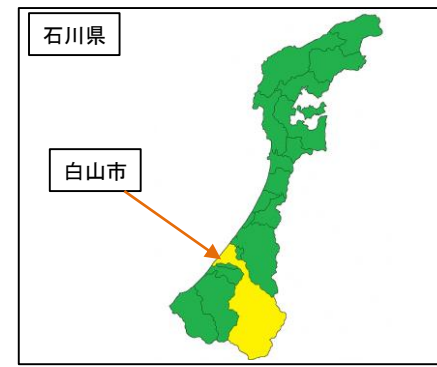


集落外の援農ボランティアとの共同活動と都市農村交流による集落活性化

はくさんし かわらやままち
(石川県白山市 河原山町集落協定)



○ 「いしかわ農村ボランティア」を活用し、学生や都市住民のボランティア受け入れた除草や獣害防止柵設置の共同作業を実施。都市農村交流イベントでのジビエや地域特産品を使った加工品販売の提供。

協定面積：22.8ha（田） 交付金額：484万円（個人配分50%、共同取組活動50%）
協定参加者：農業者22人、非農業者16人 協定開始：平成12年度

地域の現状

- 当地区は、南側に霊峰白山を抱える豪雪地帯であり、協定農用地の約9割が急傾斜（うち1/3は超急傾斜）。
- 兼業農家が大半を占め、農業者の高齢化も進行していることから、耕作放棄地の発生防止のため、制度当初から本交付金に取り組み、地域の中心となる担い手の育成や、高齢農業者が耕作困難となった場合でも担い手と集落で支える体制づくり。
- しかし、近年では、農業者の高齢化が更に進行し、後継者のいない高齢農家が増加。



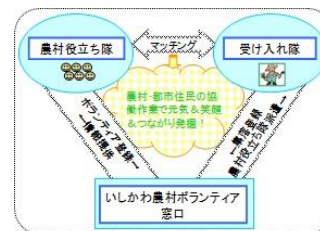
【超急傾斜農用地】



【雪の棚田】

取組の概要

- 耕作の継続を懸念する農家が多くなったことから、平成30年10月に集落営農組織を設立。耕作が困難となった農地は、担い手と集落営農組織が協力して耕作・管理。
- 集落では、県が支援する「いしかわ農村ボランティア」を活用し、学生や都市住民を援農ボランティアとして受け入れ。地元住民と共同で除草作業や獣害防止柵設置を実施。（石川県は県内19地区を支援（H30））
- 毎秋開催の「かわらやま山里の市」では、地域特産品の柿を使ったジャムやパイなどの加工品販売、集落周辺の山林で捕獲したイノシシやクマを使った鍋や焼肉を提供し、都市住民との交流活動を実施。（猟師4名が協定に参加）



【いしかわ農村ボランティア】 【ボランティアとの共同活動】 【かわらやま山里の市】